

目次

第1篇 北海道地方の観光地

Introduction : はじめに

No. 1 : 北海道の観光地

第2篇 東北地方の観光地

No. 2 : 青森県の観光地

No. 3 : 岩手県の観光地

No. 4 : 秋田県の観光地

No. 5 : 宮城県の観光地

No. 6 : 山形県の観光地

No. 7 : 福島県の観光地

第3篇 関東地方の観光地

No. 8 : 茨城県の観光地

No. 9 : 栃木県の観光地

No. 10 : 群馬県の観光地

No. 11 : 埼玉県の観光地

No. 12 : 千葉県の観光地

No. 13 : 東京都の観光地

No. 14 : 神奈川県 of 観光地

第4篇 中部地方の観光地

No. 15 : 新潟県の観光地

No. 16 : 長野県の観光地

No. 17 : 山梨県の観光地

No. 18 : 静岡県の観光地

No. 19 : 岐阜県の観光地

No. 20 : 愛知県の観光地

第5篇 北陸地方の観光地

No. 21 : 富山県の観光地

No. 22 : 石川県の観光地

No. 23 : 福井県の観光地

第6篇 近畿地方の観光地

No. 24 : 三重県の観光地

No. 25 : 滋賀県の観光地

No. 26 : 京都府の観光地

No. 27 : 奈良県の観光地

No. 28 : 和歌山県の観光地

No. 29 : 大阪府の観光地

No. 30 : 兵庫県の観光地

第7篇 中国地方の観光地

No. 31 : 鳥取県の観光地

No. 32 : 島根県の観光地

No. 33 : 岡山県の観光地

No. 34 : 広島県の観光地

No. 35 : 山口県の観光地

第8篇 四国地方の観光地

No. 36 : 香川県の観光地

No. 37 : 愛媛県の観光地

No. 38 : 徳島県の観光地

No. 39 : 高知県の観光地

第9篇 九州地方の観光地

No. 40 : 福岡県の観光地

No. 41 : 佐賀県の観光地

No. 42 : 長崎県の観光地

No. 43 : 大分県の観光地

No. 44 : 熊本県の観光地

No. 45 : 宮崎県の観光地

No. 46 : 鹿児島県の観光地

第10篇 沖縄地方の観光地

No. 47 : 沖縄県の観光地

本資料に掲載

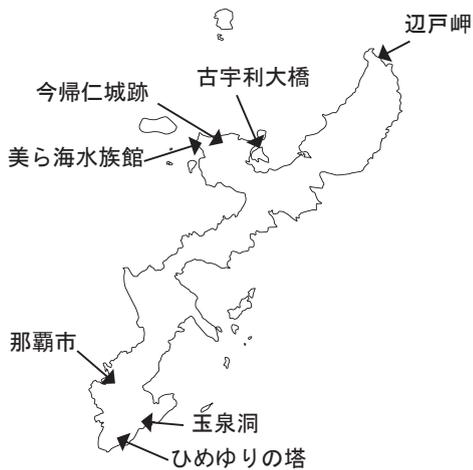
第11篇 その他の観光資源

No. 48 : 日本の国立公園

No. 49 : 日本の世界遺産

No. 50 : その他の項目

No. 47 : 沖縄県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

日本の最南西端にある観光県で、旅行管理者試験での出題の頻度は高い。

中心地「那覇」のある沖縄本島には、琉球王国の歴史を感じさせる建造物等が残り、沖縄を代表する観光資源になっている。

沖縄本島の南の海上には、宮古島、石垣島、西表島などの先島諸島が続く。これらの個性的な島々の特徴を知っておきたい。

試験では世界遺産や国立公園が出題されることが多く、試験直前には目を通しておくべきである。

【那覇市】

しゅりじょうあと
・首里城跡

首里城は琉球王国の国王の居城であったが、太平洋戦争中の沖縄戦で全焼した。戦後になり正殿・北殿・南殿などが復元され、城跡は**首里城公園**として整備されている。また、正殿は2019年の火災により焼失し、現在は復元作業中。

しゅれいもん
・守礼門

首里城の入り口にある**楼門**。琉球王国は当時の中国の冊封体制下であり、使節が来た際には、国王以下が守礼門まで出迎えていた。門には「守禮之邦」の額が掲げられている。

たまうどうん
・玉陵

琉球の第二尚氏一族の歴代の陵墓で、王朝最盛期の1501年頃創建したと伝えられている。周囲は石垣で囲まれた石造りの建造物。世界遺産「**琉球王国のグスク及び関連遺産群**」の一部を構成している。

【本島北部、本部半島付近および北端】

なきじんじょうあと
・今帰仁城跡

琉球が、**北山**・**中山**・**南山**の3つの地域に分かれていた**三山時代**の北山王の主城で、北山城とも呼ばれる。堅牢な城壁に囲まれた城は、標高約100メートルに位置し眺望も素晴らしい。付近は**寒緋桜**の名所。

こうりおおはし
・古宇利大橋

本島北部の今帰仁村にある**古宇利島**と沖縄本島を結ぶ全長1960mの通行無料の橋。エメラルドグリーンの上の海の上に架かり絶景のドライブコースとなっている。

おきなわちゅうらうみすいぞくかん
・沖縄美ら海水族館

海洋博公園にある人気スポット。迫力満点の巨大水槽「黒潮の海」では世界最大の魚**ジンベエザメ**や、世界で初めて繁殖に成功したナンヨウマンタが観察できる。

へどみさき
・辺戸岬

国頭村にある沖縄本島の最北端で太平洋と東シナ海に面している。断崖絶壁に透き通る海が美しい。

【本島南部】

・ひめゆりの塔

糸満市にある、沖縄戦末期に看護要員として従軍した女子学生や教員の慰霊塔。近くの摩文仁の丘には平和祈念公園があり、全国からの観光客や修学旅行生など、年間 100 万人が慰霊に訪れている。

・玉泉洞

南城市にある国内最大級の鍾乳洞。全長が5km で、そのうち約 900m が観光用に公開されている。また、周辺は沖縄ワールド文化王国というテーマパークで、沖縄の歴史や文化などが体感できる。

【宮古、八重山列島の島々】

・宮古島

宮古列島の主島で、沖縄本島からは南西約 290 kmにある。主な観光資源は、大潮の干潮時に一部が海面上に出現する大サンゴ礁の八重干瀬や、長さ約 2 km、幅最大 160m、標高約 20 mの隆起サンゴ礁の石灰岩からなる東平安名岬である。

・石垣島

沖縄本島の南西約 400km に位置する島。観光の一番人気は、グラスボートから見る美しい海で知られる川平湾で、旅行者が石垣島に抱くイメージそのもの。また、中国福建省出身が眠る唐人墓や赤瓦屋根の豪壮な土族屋敷である宮良殿内がある。

・竹富島

石垣島の南約6km にあり高速船で約 10 分の距離にある島。家屋は石灰岩の石垣に赤瓦といった伝統的な様式で建てられ、古い沖縄の集落景観をそのまま残している。この美しい町並みを三線の音を聞きながら水牛車で巡るツアーが観光の中心。

・西表島

沖縄県では沖縄本島に次いで2番目に大きな島。イリオモテヤマネコなどの国指定天然記念物を有し学術的にも貴重な自然が多い。隣接する由布島との間の海は約 400m で遠浅であり、移動手段として観光用の水牛車を利用され、観光名物になっている。

・与那国島

沖縄本島からは南西約 520km で日本の最西端に位置し、国境の島と呼ばれる島。ダイビングの名所として人気がある。

・波照間島

石垣島から南西約 50 kmの日本最南端の有人島。定期船で石垣島から1時間 30 分かかる。ハテルマブルーと呼ばれる美しい海とのどかな自然が残る。

《代表的な観光資源》

【特産品】

ラフテー：沖縄風の豚の角煮で、皮付きの三枚肉（バラ肉）を泡盛やしょうゆで味付けした料理。

ソーキそば：豚のスペアリブ（ソーキ）をトッピングした沖縄のそば。

紅型：沖縄を代表する伝統的な染色技法、またはそれを用いた染織物。

壺屋焼：那覇市の壺屋地区などで焼かれる焼き物。魔よけのシーサーのほとんどはこれで焼かれる。

芭蕉布：本島北部を中心に作られる、糸芭蕉の繊維を使った織物。

【祭り・イベント】

エイサー：沖縄の盆踊りにあたる伝統芸能。太鼓や三線を鳴らしながら隊列を組んで踊る。

ハーリー：旧暦の5月4日に沖縄の各地で行われる小型船(爬龍船)の競争。糸満ではハーレーと呼ばれる。

【沖縄の世界遺産と国立公園】

● 世界遺産：琉球王国のグスク及び関連遺産群

・那覇市

首里城跡：琉球王国の政治・外交・文化の中心だった首里城の跡。個々の建造物は含まれていません。

園比屋武御嶽石門そのひやんうたきいしもん：首里城公園内にある祭祀を行った場所で、国王が各地を視察するときには必ず拝礼した場所。

玉陵：本文の〔那覇市〕を参照。

識名園：1799年に完成した琉球王家の別荘で中国からの使者を迎える場として利用されていた。

・南城市

斎場御嶽せーふあうたき：琉球王国時代には祭祀や拝礼を行う場所で最高の聖地とされていた。

・今帰仁村

今帰仁城跡：本文の〔本島北部 本部半島付近〕参照。

・読谷村

座喜味城跡：1416年～1422年に築かれた標高120m余の丘陵地にある城跡。アーチの石門が特徴。

・うるま市

勝連城跡：標高約60～98mの丘陵にある、東西に細長い琉球王国時代の城跡。

・中城村・北中城村

中城城跡：築城年代は不明。自然の断崖や勾配を巧みに利用した美しい曲線の城壁が特徴。

○ 国立公園：やんばる国立公園

沖縄島北部に位置し、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、ヤンバルクイナなど多種多様な固有動植物及び希少動植物が生息・生育している。域内には辺戸岬、本島の最高峰与那覇岳、展望地の茅打バンタ等が含まれる。

○ 国立公園：慶良間諸島国立公園

那覇市の西方約40kmに位置し、大小30余りの島々と数多くの岩礁からなる。ケラマブルーと呼ばれる透明度の高い海、高密度に生息するサンゴ礁、ザトウクジラの生息、特有の植生など、多様な景観を有している。渡嘉敷島とかしきしま、座間味島ざまみしま、慶留間島げるましまなどが含まれる。

○ 国立公園：西表石垣国立公園

わが国最南端の国立公園で、亜熱帯性常緑広葉樹林やマングローブ林、サンゴ礁などの自然景観とイリオモテヤマネコなどの固有の動植物が多く生息・生育している。西表島、石垣島、竹富島、波照間島などが含まれる。